

ふくしまのお母さんの安心のために

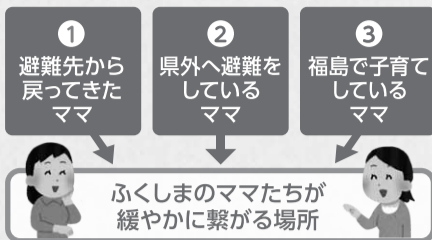
～ふくしま子ども支援センターの取組み～

東日本大震災により、それまで福島で共に子育てに奮闘していたお母さん同士の繋がりが分断されてしまいました。震災から3年半以上が経過した今、避難している親子や、避難先から戻ってきた親子など、それぞれの立場に立った支援がより一層求められています。

福島県の委託を受けてNPO法人ビーズふくしまが運営する「ふくしま子ども支援センター」では、そのようなニーズに対応するため、県外に避難している親子や避難先から戻ってきた親子、福島で子育てをしている親子を中心に支援しています。それぞれの選択と思いを大切にしながら、どの立場のお母さんも福島で緩やかに繋がる環境づくりを目指して活動しています。



震災から3年8か月。
それぞれの選択と思いを大切にしたい!!



① 避難先から戻ってきたママへの支援

私だけが神経質なのかな? あまり、気にしているとかわいそう、辛い。

福島に戻ってからは、不安や悩みを話せる場所があるといいな。

避難先から戻ってきたママカフェ

避難先から戻ってきたママたちのサロン「ママカフェ」を県内5か所で毎月開催しています。久しぶりの福島での生活のことや、お子さんのこと、ママ自身のことも含めて、安心しておしゃべりできる場です。

◎福島県内5か所で開催中!◎

福島 郡山 白河 いわき 南相馬

11月から南相馬市でもスタート!

福島に戻ってきたママの本音は…?

- Q.戻ってくると決めた理由は?
- ・パパと離れている生活に耐えられませんでした。
 - ・経済的に限界だったからです。
- Q.戻ってきて感じたことは?
- ・周りの人が普通に生活していることに驚きました。
 - ・神経質な母親と思われる、子どもが学校で困るのでは?と思うので、本音を言えないです。
- Q.ママカフェに参加してみた
- ・悩んでいたのは一人じゃないと、気持ちが楽になった!
 - ・安心して本音を話せることが、嬉しいです!



「ママカフェ」ではこんな話題が出ています!

- ・子どもの遊び場はどうしてる?
- ・食材はどうやって選んでる?
- ・学校や幼稚園との付き合い方は?

お話を伺いました!



県内外避難者支援コーディネーター
富田 愛さん

「ママカフェ」を平成25年6月にスタートさせてから約1年半が経ちました。福島市と郡山市の2か所から始めた取り組みでしたが、多くのお母さんからの声をいただき、いわき市、白河市へ、更に今年11月からは南相馬市でも始まるなど広がりを見せています。最近のママカフェでは、日頃の不安や悩みの共有はもちろん、「食材の選び方は?」「子どもの遊び場は?」などのテーマを基にしたグループトークも

開催しており、毎回参加するお母さんもいます。そして、このグループトークで元気を取り戻したり、本来の力を取り戻しているママたちがたくさんいます。

現在避難中のママ、避難先から戻ったママ、福島で子育てしているママ。震災からずっと悩みながらも、日々、子育てに奮闘している点では同じママたちです。今後は、緩やかに一つに繋がっていく環境づくりが大事になってくると思います。ママカフェから生まれたサークル「はみんぐBird」は、緩やかに繋がっている一つの形だと思います。そんなママたちの力強い一歩を、これから応援し続ける「ママカフェ」でありたいと思っています。

お近くの「ママカフェ」へお気軽にご参加ください!

12月～3月のスケジュール	参加無料・申込不要
福島	
日程	12月26日・1月23日・2月27日・3月27日(すべて金曜)
場所	福島市保健福祉センター(福島市森合町10-1)
郡山	
日程	12月11日・1月8日・2月12日・3月5日(すべて木曜)
場所	NPO法人 子育て支援コミュニティ プチママン(郡山市富田町大徳南2-23)
白河	
日程	12月10日・1月14日・2月4日・3月11日(すべて水曜)
場所	マイタウン白河(白河市本町2)
いわき	
日程	12月16日・1月20日・2月17日・3月17日(すべて火曜)
場所	いわき産業創造館 LATOV6F(いわき市平字田町120)
南相馬	
日程	12月12日・1月9日・2月13日・3月13日(すべて金曜)
場所	原町保健センター(南相馬市原町区小川町322-1)

※時間はいずれも10時～12時

ママカフェ 支援センター

問 ふくしま子ども支援センター
(福島市太田町17-8 アーバン横山1F)
☎024-573-0150

② 県外へ避難をしているママへの支援

福島は、今どうなっているの?

同じ福島のママと話したい!



家族が避難しているパパ、家族が避難先から戻ってきたパパ向けの「ばばカフェ」も開催しています。

避難先の連携団体と一緒に、交流会や子育てサロンなどを開催しています(日時等はWEBサイト「ふくしま結ネット」にてご確認ください)。

また、定期的にコーディネーターが主に山形、新潟などの避難先を訪問し、福島の実況やママカフェの様子を伝えています。

ふくしまと避難先を結ぶ
ふくしま結ネット

「ふくしま結ネット」では、避難先と福島を繋ぐ情報を発信しています。スマートフォンや携帯電話からもご利用いただけます。

ふくしま結ネット

携帯電話からはこちら

③ 福島で子育てしているママへの支援

避難しなかったけど、福島での子育てに不安がある。

乳幼児健診等に、臨床心理士などの専門職を派遣しています。

また、福島の子育て家庭を支援している支援者の養成や、スキルアップのための研修を開催しています。

福島の子育て家庭を支援している私たちも、不安でいっぱい。

「スマイル!スマイル!ふくしま」は、福島の子どもや若者を対象に実施した「笑顔をつなげよう動画コンテスト」の応募作品138点を使用して作成した、福島県のプロモーションビデオです。総勢3,651名が参加したこのビデオには、輝く笑顔、ひたむきな姿、福島県の元気がいっぱい詰まっています!

福島県公式 スマイル

問 福島県庁復興・総合計画課
☎024-521-7809

動画は福島県公式YouTubeからご覧ください。動画コンテストの各賞受賞作品もご覧いただけます。

子ども健やか訪問事業

福島県では、今年度から「子ども健やか訪問事業」を実施しています。避難生活が長期化している中、ご自宅から離れた生活をしているお子さんのご家庭を、子ども健やか訪問員等が訪問し、暮らしのこと、育児のことなど、ゆとりをお話をお聴きし、少しでも不安を軽減できればと考えています。

対象となるご家庭

- 南相馬市・相馬市・双葉郡・相馬郡等から福島県内で避難生活をしている1歳・4歳・小学1年生のお子さんをお持ちのご家庭
- ※福島県が南相馬市・相馬市・双葉郡・相馬郡等の町村長から対象となるお子さんの居住地・連絡先の町情報をお聴きいただいております(この事業の目的以外には使用しません)。

家庭訪問を実施するスタッフ

福島県が依頼した、子ども健やか訪問員や県保健福祉事務所の保健師等の職員、子ども健やか訪問員は保健師、助産師、看護師、保育士等の資格を持ち、訪問に必要な研修を受けております。

※県保健福祉事務所から事前にお電話やお知らせをお送りし、お子さんと保護者の方が在宅されている時間に、可能な限り合わせて家庭訪問を実施します。

訪問後について

情報をいただいた市町村(住所地の市町村)へ訪問の結果をお伝えします。

※訪問でお聞きした個人情報等は保護者の方の了解なく、使用されることはありません。

各保健福祉事務所の電話番号

東北	☎024-534-4155
県中	☎0248-75-7810
県南	☎0248-22-5647
会津	☎0242-29-5278
南会津	☎0241-63-0305
相双	☎0244-26-1134
相双(いわき出張所)	☎0246-24-6118

問 福島県庁 児童家庭課
☎024-521-7174



ふくしまからはじめよう。

ふくしまの
今が分かる
新聞

vol. 26

2014年12月5日

発行: 福島県避難者支援課 ☎024-523-4157

※この広報紙は「東日本大震災子ども支援基金」を財源として発行しています。



ママカフェから生まれたママのサークル『はみんぐBird』

はじめまして! はみんぐBirdです。私たちの活動も1年になりました。個性の違う4人全員が出会ったのは「ママカフェ」。それぞれに葛藤を抱えながらも、少しずつ「私は、私に出来ることをしよう」という思いを共有しながらスタートしたサークルです。

スタート時は、避難経験のあるお母さんたちの居場所として、月1回の「聴く茶葉話会」を開催していました。そして現在、避難経験の有無を問わず、様々な選択や立場の違いを超えて共に歩んでいけるような心のきっかけづくりを目指して、対話形式の「てととと会」を開催しています。これからも、一人ひとりが本来持っているキラキラした美しさと力を取り戻すような活動を皆さんと共に育てていきます!

立木に係る財物賠償の開始について

東京電力は、立木に係る財物賠償の考え方を示すとともに避難指示区域内(旧避難指示解除準備区域を含む。以下同じ)については賠償の請求手続きを開始しましたので、その概要等についてお知らせします。

賠償の対象

市場価値のある立木(販売が見込まれる立木)について、避難等により商品として出荷することが困難なことから、土地に定着している状態で伐採後の市場価値が全て失われたものとして、**事故時点での立木所有者(注1)**に賠償されます。

参考図①②
避難指示区域及び
双葉郡のその他の区域

参考図③④
その他の区域

しいたけ原木として出荷予定の立木(天然林)について、しいたけ原木の出荷制限に伴い、土地に定着している状態で伐採後の市場価値が全て失われたものとして、**事故時点での立木所有者(注1)**に賠償されます。

賠償額の算定式

人工林と天然林に区分して設定した単価により算定されます。	
人工林	100円/m ² × 所有する面積(m ²)
天然林	30円/m ² × 所有する面積(m ²)

$$\text{賠償金額} = \text{賠償相当額} \times \text{持分割合} + \text{諸費用}$$

立木の一定割合をしいたけ原木として出荷予定の立木と推認し、さらに天然林の割合や出荷が見込まれる面積を考慮して設定した単価により算定されます。

参考図③ 旧緊急時避難準備区域・旧屋内退避区域等	10円/m ² × 所有する山林面積(m ²)
参考図④ 福島県内のその他の区域	5円/m ² × 所有する山林面積(m ²)

※福島県内のその他の地域については、別途、広葉樹の取引実績があることの証明が必要。

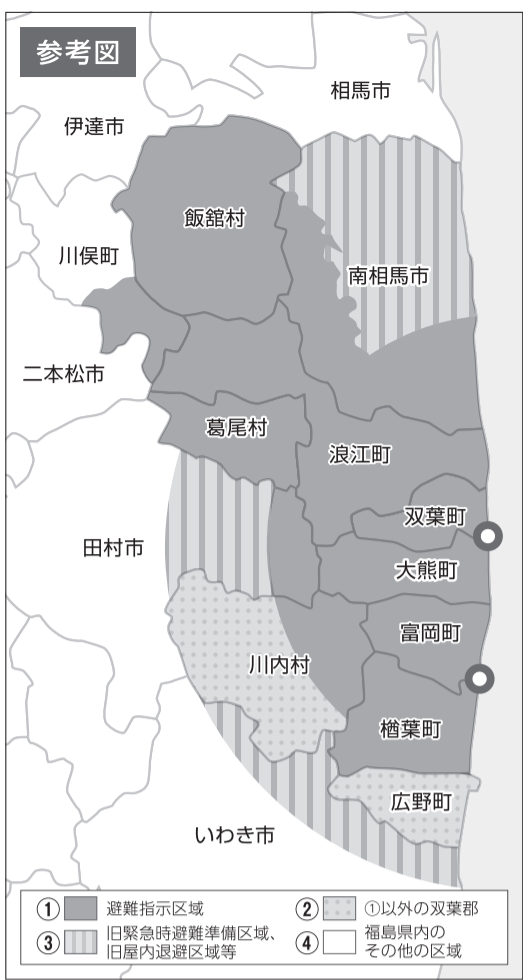
請求方法

固定資産課税情報を提出された方(注2)には、平成26年9月22日以降、順次請求書が発送されます。
土地を所有せず立木のみ所有されている方は、左記の「東京電力株式会社」相談専用ダイヤルへお問い合わせください。

今年度中を目途に、請求手続きについて別途案内されます。

東京電力株式会社福島原子力補償相談室(財物・土地・建物・家財)ご相談専用ダイヤル
☎0120-926-596(毎日9時~21時)
福島県(原子力損害の賠償等)に関する問い合わせ窓口
☎024-523-1501(平日8時30分~17時15分)

連絡先



合同就職面接会のお知らせ

郡山市、いわき市、避難解除区域等を中心とした県内企業による合同就職面接会を開催します。

対象	避難解除区域等(※)から県内外に避難している求職者、県内に在住の求職者、県内の事業所に就職を希望される方 ※避難指示が全て解除された区域並びに避難指示解除準備区域、居住制限区域及び帰還困難区域
日程	郡山会場 日 時 12月23日(火・祝) 事業主によるPR/12時30分~14時15分 合同就職面接会/14時30分~16時 場 所 ビッグパレットふくしま 1F多目的展示ホールA 参加企業 郡山市・避難解除区域等を中心とした県内企業約40社
	いわき会場 日 時 2月1日(日) 13時~15時 場 所 いわき産業創造館 LATOV 6F企画展示ホール 参加企業 いわき市・避難解除区域等を中心とした県内企業約30社

※両会場とも、参加無料、予約不要、入退場自由

東京からバスも運行します。
乗車希望の方は事前申込が必要です(片道利用可)。

バス申込期限 郡山会場:12月15日(月)
いわき会場:1月23日(金)

詳細は、福島広域雇用促進支援協議会のWEBサイトに確認してください。

働きたいネット
検索

福島広域雇用促進支援協議会(福島県庁 雇用労政課内)
☎024-524-2121

制服デザイン決定



この制服デザインは、双葉郡内の中学生や11月1日に開催した教育フォーラムに参加いただいた270名を超える皆さまに3種類のデザイン案をお示しし、いただいたご意見を基に決定したものです。今後、来春の開校に向けて魅力的な制服の製作に取り組んでいきます。

ふたば未来学園
福島県教育庁 高校教育課
☎024-521-7771
検索

ふくしま 避難者交流会 開催

福島県と東京都の共催でふくしまの元気と魅力を首都圏で発信する「ふくしま大交流フェア」の開催にあわせ、首都圏に避難されている方々を対象にした交流会を開催します。皆さん、ぜひふくしまの笑顔に会いに来てください。

日時 平成27年1月12日(月・祝) 14時~16時45分
場所 東京国際フォーラムホールD5(東京都千代田区丸の内3-5-1)
内容 ふくしまと交流会、専門家による個別相談会、パネル写真展等
問 福島県庁 避難者支援課 ☎024-523-4157

去年開催された「交流会」の様子

同時開催 ふくしま 大交流フェア 入場無料

福島県から約1000のブースが出展! スパリゾートハワイアンズ、のフラガールによるステージショーなどの多彩なイベントに加え、「なみえ焼そば」や福島伝統の「円盤餃子」など福島島の食も満載!

日時 平成27年1月12日(月・祝) 11時~17時
場所 東京国際フォーラム 展示ホール地上広場

大熊町 震災後初の稲刈り

大熊町では、居住制限区域内の除染した水田でコメの試験栽培を行っており、5月に田植えをした(本紙第20号にて田植えの様子を紹介)ひとめぼれを、10月7日に町農業委員ら10人余りで手刈りしました。町内での稲の栽培は4年ぶりです。収穫したコメは放射性物質の濃度を調べる分以外廃棄されますが、台風一過の秋晴れの下、参加者は気持ちよさそうに作業に汗を流していました。



飯館村 第31回 いいたて村文化祭

飯館村では、避難後3回目の「いいたて村文化祭」を福島市内で開催し、避難先で村民が手作りした手工芸品や絵画など千点を超える作品展示の他、学校や各団体の踊り、合唱等の発表が行われました。また、避難中でも伝統芸能を守り続けようとして活動している各地区の「神楽」や「三匹獅子舞」なども披露され、住民らは久しぶりの地元の伝統芸能を笑顔で楽しんでいました。



地域の再生に向けた動きを伝える

「ふるさとの今」

このコーナーでは、再生に向かうふるさとの現在の様子をご紹介します。今回は、浪江町、大熊町、飯館村からのレポートを3つお届けします。

浪江町 「B-1グランプリ in 郡山」でおもてなし

第9回「ご当地グルメでまちおこしの祭典! B-1グランプリ in 郡山~東北・福島応援特別大会~」が、10月18日・19日に郡山市内で開かれ、45万人超の人出でにぎわいました。今年は東日本大震災からの復興を目指す特別大会との位置づけで、浪江町と郡山市が共同で実行委員会を立ち上げて開催したものです。



昨年の大会で念願のゴールドグランプリを受賞した浪江町の「浪江焼麺天国」は、開会式で「金の箸」を返還するとともに、震災後に全国からいただいたご支援に対し、浪江町とともにご恩返しとおもてなしの心でご来場の皆さまをお迎えしました。会場の仮設トイレに設置した花飾りも、浪江町民の皆さんが感謝の気持ちをこめて手作りしたものです。



読者の声

読者の皆さまからいただいた声を今後の紙面づくりに反映してまいります。

このコーナーは、皆さまのご要望で成り立っています!

避難先でお困りのことや知りたい情報、気になっていることなどを寄せてください。

ご意見はコチラまで

〒960-8670 福島県庁 避難者支援課「読者アンケート」係

この記事がよかった!

24号に掲載されたインフラの復旧・整備について、特に「道路」の情報はコンパクトにまとめられていて、とても役に立ちました。(南相馬市 50代 男性)

こんな情報がほしい

福島県からの避難者同士が、福島県外でも会える場を企画してほしい。(茨城県 20代 男性)

「ふるさとの今」について

24号に掲載の、双葉町立の幼稚園、小・中学校の仮設校舎完成の記事や写真は、子どもたちの歓声が聞こえてくるようでした。(いわき市 60代 男性)

下記のWEBサイトに、茨城県を含め全国で開催される交流会情報などを紹介しています。今号に掲載のとおり、1月に東京でも交流会を開催します。全国に避難されている方々のための地域情報サイト
避難されている方々へ 検索



本県の意向調査へのご協力をお願いします

福島県では、県内外に避難されている県民の皆さまを対象に、前年度に引き続き意向調査を実施する予定です。

この調査は、皆さまの現在の生活状況やご意向についてお聞かせいただき、今後の支援に役立てることを目的としていますので、ご協力をお願いします。

※平成27年1月下旬を目途に、本県から避難先の各世帯に調査票をお送りします。※前回の調査結果は避難者支援課のWEBサイトでご覧いただけます。

福島県避難者意向調査 検索

問 福島県庁 避難者支援課 ☎024-523-4250

「ふくしまの今が分かる新聞」バックナンバーはこちら
ふくしまの今新聞 県庁 検索



編集後記

今年は、「ベルリンの壁崩壊」から25年になるそうです。その記念式典でのドイツ首相の言葉「私たちは物事を良い方向に変えることができる——これがベルリンの壁崩壊のメッセージです」。今年もあと1ヶ月になりましたが、私たちは福島を良い方向に変えることができる、そう信じて新しい年を迎えたいと思います。【タケ】